

AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



果樹林産センター 信方浩志郎

樹勢回復

樹勢回復や花芽分化の充実させるため、収穫終了後は尿素を散布して下さい。

・尿素500倍 1週間間隔で2〜3回程度散布
マルチ栽培園地では、シート除去後にかん水します。窒素主体の葉面散布を3月までに3回以上実施し、樹勢の早期回復を図ってください。収穫後は、秋肥として、即効性の肥料を基準量の半分施用、残りの半分は4月下旬〜5月に施用します。

寒害対策

冷気が停滞しやすい場所や風の当たりやすい場所は、寒冷紗やコモで樹を覆います。また、土壌の乾燥は寒害を助長するので、ワラを敷いて乾燥防止に努めましょう。

中晩柑の収穫

1月に入ると中晩柑類も随時収穫となります。収穫の目安は【表1】の通りです。ただし、寒波が襲来して-3℃以下の低温に長時間さらされると凍害の発生が懸念されるため、寒害対策を十分に行いましょう。

病虫害防除

冬季のうちに越冬害虫の密度を下げておく事で、後々の防除効果につながります。マシン油乳剤は、直接害虫にかからないと効果が無いので、丁寧に散布をします。尿素を混用すると樹勢回復にもつながり効果的です。また、降雨により効果が減退するため、5日程度晴天が続くことを確認して散布しましょう。

1月上・中旬

・カイガラムシ類、ハダニ類
マシン油乳剤(97%) 60倍

【表1】主な中晩柑類の収穫の目安

品種名	収穫時期	出荷時期
はるみ	12月下～1月下	2月上～
甘夏	1月中～3月上	3月上～
不知火	2月上～2月下	3月上～
せとか	2月上～2月下	2月下～3月下